

意識改革と市場内の協力体制の確立が必要と考えている。

岡山中央小学校

施設の特徴は

問 建設が予定されている岡山中央小学校の施設面の特徴は。

答 普通教室をオーブンスペースとしており、多目的な活用が可能なこと。校舎二階に体育館を合築すること。四階に屋根付き全天候型屋内プールを設け、未使用時は床を上げること。集会所等として活用が可能なこと。等がある。

市民ネット

本市ネットワークインフラ

平成16年度中に民間開放へ

問 情報水道構想に基づき整備したネットワークインフラを民間に開放する考えは。

答 インフラの有効活用や市内ブロードバンド化の促進に向け、第一種電気通信事業者を対象に、下水道施設管理用以外の光ファイバー芯線と下水道管きよの空間開放を行うため、規則や手続き等の整備を進めている。早期の有効活用を図るため平成17年度末の情報水道実験終了に先立ち、16年度中に運用を開始

したい。

カネボウ跡地活用に向けて

問 カネボウ跡地の活用に向

たり、地元協議会が地元住民への説明も行わず、地域全体の総意として提言を行っているが、本市の考えは。

答 本市として提言の内容を高く評価するとともに、市ホームページに掲載しているが、市民の反応は少なく関心の高まりが見られない。今後、学区連合町内会や地域住民に説明を行いながら認知度を上げ、活用に向けた機運の醸成や本市の計画との整合性を図りたい。

病院事業管理者期末手当

改善を検討

問 病院事業管理者の成功報酬は、監査意見書で改善するよう指摘されているが、条例を改正する考えは。

答 ささまざまな指摘を踏まえ、岡山市病院事業管理者期末手当検討委員会で、条例改正も視野に入れ検討を行っており、遅くとも平成15年11月までには結論が出るかと考えている。

学校園の防犯対策は

問 児童・生徒に関わる事件



市東部の活性化の鍵を握るカネボウ跡地

が多発しているが、本市の防犯対策の基本姿勢は 具体的取り組みは。

答 子どもの生命を守るため、市民協働による人づくりを進める観点から、校内の防犯体制の確立が重要と考えている。全学校園で防犯訓練の実施を進めており、警察と連携し実施した学校もある。ハード面では、各学校園へ防犯ブザーを配布するとともに、警察の子ども緊急通報装置などの防犯システムによるモデル地域との連携等も今後の検討課題と考えている。

共産党

軽度発達障害児

支援体制の確立を

問 LDなどの軽度発達障害児への個別支援体制づくりに向けた本市の取り組みは。

答 実践研究校での成果を生かし、平成15年度から、専門家と市教委担当者の学校訪問による教職員の認識向上と校内の体制づくりのための教育支援訪問相談を実施しており、今後も積極的に推進していく。

中央卸売市場の活性化

基本構想策定に向けて

問 中央卸売市場の活性化に向け、産地づくりや商品開発を含めた基本構想と計画が必要では。

答 生産者と消費者のニーズをマッチさせる食の総合コーディネートという重要な役割を担うため、戦略等を明確にした上で、具体的行動に移ることが大切と考えており、市場関係者と協働で早急に策定したい。

粗大ゴミ受け入れ日拡大

問 粗大ゴミ受け入れが、祝

日と月一回の日曜日にも拡大され、持ち込みの増加が予想されるが、受け入れ体制等の充実は。

答 搬入の増加や受け付けでのトラブル防止に向け、現行の受け付けシステムを利用した電話予約制度を導入し、作業に支障がない体制の確保や受け付け部署と受け入れ現場の連携により円滑な受け入れを行いたい。



粗大ゴミのスムーズな受け入れに向けて (東部リサイクルプラザ)

「いずしかん」に

代替施設提供を

問 市民手づくりの戦災資料館「いずしかん」に、立ち退き期日が迫っているが、代替施設の提供は可能か。

答 「いずしかん」は市民の理解と協力の中で頑張っており、今後運営等で悩むことがあれば、相談があるものと考えている。